
男たちの戦場

聖闘士

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

男たちの戦場

【Nコード】

N8525P

【作者名】

聖闘士

【あらすじ】

ここは戦場、兵士たちには安息は許されない。ここは戦場、兵士たちに逃亡は許されない。ここは戦場、兵士たちに上官への反抗は許されない。

私の体は既に限界であった。

たび重なる酷使により、筋肉はとつくの昔に悲鳴をあげている。それでも前に進むことが出来ていたのは、理想でも信念でも、あるいは金銭欲のおかげでも無い。ただ単に、私にはこの戦いを乗り越えない限り、帰る場所がないという焦燥感故なのだ。

しかし、それでもついに肉体の限界が来た。低い体勢を維持するために負担をかけた腰は既に感覚が無くなり、忌々しい緑の植物を除去するために使用した両腕は既に胸のあたりまで持ち上げる事さえ億劫あつくうになっている。

私は、今の自分の状態を生み出した上官に対する怨嗟の声をあげた。もちろん心の中だけで、である。この怨嗟の声を実際に口にすることが出来たならば、私の心は天にも昇るような爽快感を味わう事が出来るであろうが、その直後に地獄の底まで一気に叩き落とされると事もまた、火を見るより明らかである。

ああ神よ、私が一体どのような悪行を積んだというのでしょうか？私は真面目に生きてきたつまらない男です。そんな男に与える罰としては、いささか重過ぎるのではないのでしょうか？

そんなどこにいるかも分からない神に語りかけていた私に向かって

「あなた、庭の草むしりは終わったの？あら、ここまでしか終わってないの……しょうがないわねえ、草むしりは明日に回すとして、これから買い物に行くから車の運転と荷物持ちをお願いね？」

との声が投げかけられた。私は思わず、恐るべき上官に向かって文句を言おうと口を開こうとしたが、こちらに向けられた視線に真っ向から向き合った瞬間、全ての抵抗を諦め、無条件降伏を宣言することを決意するのだった。

どうか、私と同じ境遇にいる同胞達よ……君達が一刻も早くこの苦しみから逃れられるようになることを祈る

by 某ブログに

掲載された家庭内兵士さんの魂の叫び

(後書き)

その後、Sさんの行方を知る者はいない……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8525p/>

男たちの戦場

2011年1月8日23時16分発行